

 【いいたん基礎教養通信 vol.11】みなさんこんにちは。いいたん基礎教養通信第十一号です。

いいたん基礎教養は、専門学校にはない幅広い学びの実現を目指す 30 程度の科目群で、その中には、英語の科目がいくつかあって、就職試験や各種採用試験科目のお役に立てるほか、英語を使う生活への準備ができる科目になっています。



就職試験で英語が出ることもあるし  
仕事やプライベートで英語を使うこと  
があるかもしれないにゃんね。

いいたんには、ネイティブ・スピーカーの先生による英会話の授業がありますし、日本人教師の参加する英文読解の授業(看護科)もあります。



高校までも ALT の先生がいてくれたけど、  
いいたんでもネイティブスピーカーの先生が  
教えてくれるにゃんね。

英語は、世界で発表される論文の八割が英語で書かれているといわれるほど(参照：<https://tyleralp1el.wordpress.com/2015/09/13/the-hidden-bias-of-sciences-universal-language/>)、学問をするなら必須の言語になっています。生活する上ではそこまで必要ないにしても、たとえば自分を守るためにも「欧米では～」「外国では～」という言説の真偽を確かめることができるくらいには英語を使いこなせたら、人生の大きな武器になります。



そこまでできなくても、日常会話ができる  
くらいには、そうでなくとも、英語が  
怖くて逃げちゃうことがなくなるくら  
いには、慣れておきたいにゃんね。。

ご心配なく！いいたんには、学問のための英語も学びたい学生さんに対応できるスタッフもいますけど、おおむね英会話を通して楽しく学んでいく授業が行われていますよ。幅広い学びで、就職活動にも役立つかもしれない、そして国際的な視野を養うこともできる、そんな基礎教養をみなさんもいいたんで学んでみませんか？